

21世紀の地球社会に向けてあなたは何を志しますか？

地球市民アカデミア

国際協力・国際教育リーダー「地球市民」塾 第Ⅶ期生募集要項

開催期間
2000年5月～2000年11月(全12回・合宿3回を含みます)

募集対象
①将来、国際協力や国際教育の分野で活動したいという意欲を持つ人。
②原則として全回参加できる人。
③18歳以上の人。
④他の受講生と協力しながら受講できる人。

参加費用
79,800(税込)(費用には登録費、受講料、3回の合宿費用、資料代などが含まれます。)

定員
35名(先着順)

募集締切
4月25日(火) 書類必着

申込方法
指定の申し込み用紙を記入の上、裏面に「私の考えるこれからの国際協力(または国際教育)」「地球市民とは？」というテーマの中から1つを選んで作文を書き、下記にお送り下さい。

共催
東和大学国際教育研究所
東京YMCA国際奉仕センター
開発教育協議会

協力
(学)アジア学院
NGO活動推進センター(JANIC)
(社)協力隊を育てる会
アカデミア・ナッツ

会場
東京YMCA

お申し込み・お問い合わせ
「地球市民アカデミア」事務局
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7
東京YMCA国際奉仕センター内
TEL: 03-3293-7011
FAX: 03-3293-9474

「地球市民アカデミア」はこうして生まれました！

貧富の格差の拡大、高まる地球環境への危機感、民族紛争の激化など、世界をめぐる状況はますます深刻化しています。国際協力、国際貢献への関心の高まりとともに、そうした分野での活動を志す人々もますます増えてきました。「地球市民アカデミア」はそのような人々への新しい学びの場です。

共働学習を通じた新しい学びの場を求めて

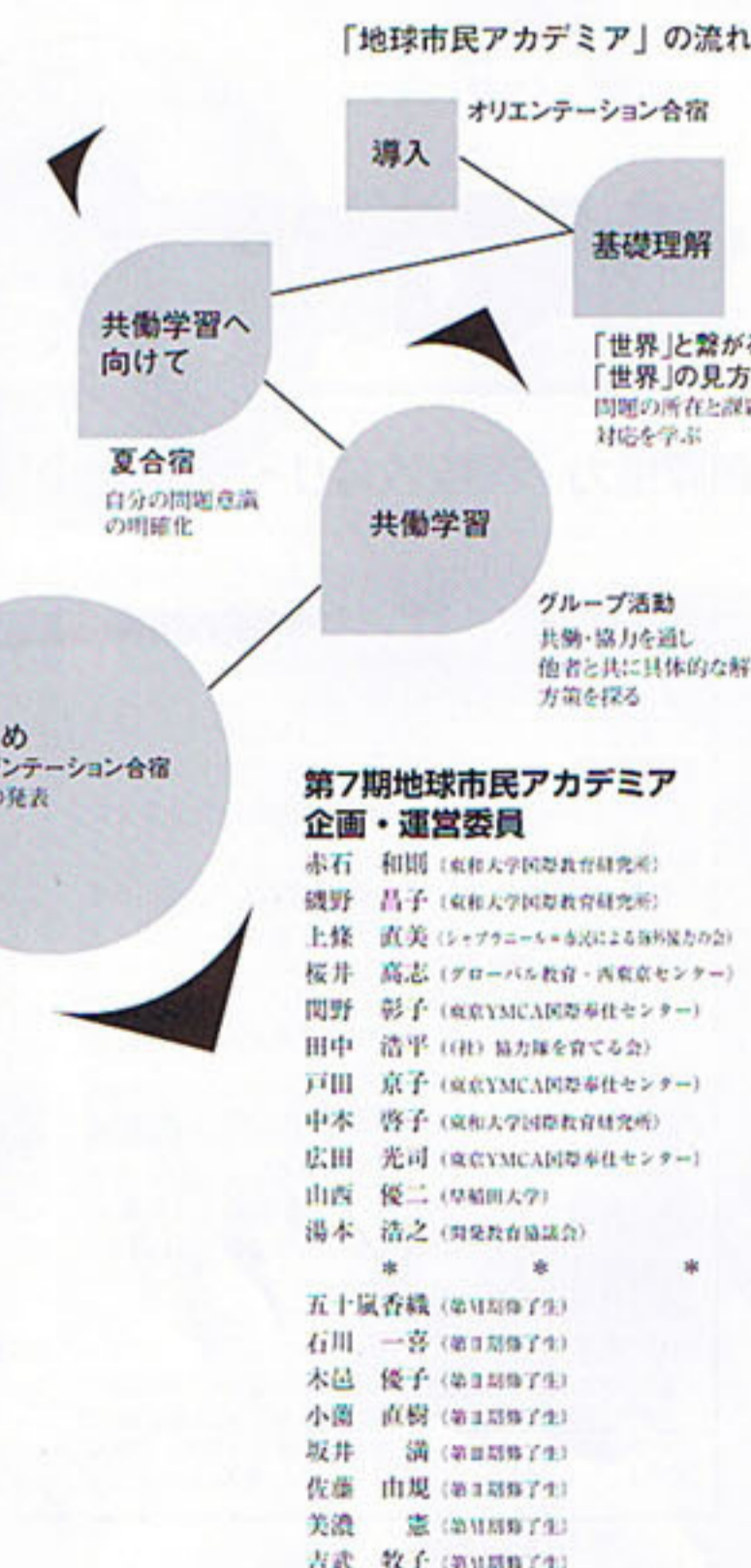
従来、講座という座って講義を受けるというイメージがありました。しかし、実際に国際協力、国際教育を実践していくには、知識や情報をただ身にまとうだけでなく、それらをメッセージやアクションに変えていく必要があります。そのためには、体験や試行錯誤を通じて受講者同士が互いに学び合う場が必要となります。「地球市民アカデミア」は、そんな今までのない新しい学びの場をめざしています。

21世紀の地球社会に求められる人間像を求めて

第三世界への「援助」に対する様々な見からも分かるように、異なった社会状況の中、厳しい条件下に生きる人々と共に生きようとするのは、学問の枠におさまるものではありません。21世紀への地球社会に求められるのは、いわゆる開発途上と言われる国々に生きる人々を、援助や研究の対象として見るのではなく、同時代と共に生きる人間として理解し合い、共感できる力と感性を持った地球市民なのです。

「地球市民アカデミア」のゴール

この講座が目指すものは、将来国際分野での活動を志す者が、現在の社会状況を正しく理解し、自分自身が社会のために何ができるかを考えることを通じて、自分自身の価値観を問い直し、意識の変容を促していくことです。必要な専門知識や物の見方を学ぶと同時に、国際協力や国際教育に関わる人々の経験に学び、実際にNGOなどを訪問して、現実感のある国際協力・国際教育を学びたいと思います。あなた自身がなぜ国際協力、国際教育が必要であると考え、どう関わりたいのか、また何ができるのかを深く掘り下げることをめざします。さらに、これからの社会を築っていく上で大切な、他者との協力関係の築き方を共に学びます。



第Ⅶ期地球市民アカデミア 企画・運営委員

- 赤石 和則 (東和大学国際教育研究所)
- 磯野 昌子 (東和大学国際教育研究所)
- 上條 直美 (シニアユース・ホムスによる海外協力会)
- 坂井 高志 (グローバル教育・西東京センター)
- 岡野 彰子 (東京YMCA国際奉仕センター)
- 田中 浩平 (社)協力隊を育てる会)
- 戸田 京子 (東京YMCA国際奉仕センター)
- 中本 啓子 (東和大学国際教育研究所)
- 広田 光司 (東京YMCA国際奉仕センター)
- 山西 優二 (早稲田大学)
- 湯本 浩之 (開発教育協議会)
- * * *
- 五十嵐香織 (第Ⅶ期生)
- 石川 一喜 (第Ⅶ期生)
- 木邑 優子 (第Ⅶ期生)
- 小園 直樹 (第Ⅶ期生)
- 坂井 謙 (第Ⅶ期生)
- 佐藤 由規 (第Ⅶ期生)
- 美濃 憲 (第Ⅶ期生)
- 吉武 敦子 (第Ⅶ期生)

～私たちは地球市民アカデミアを応援しています～

「関係性の破壊である暴力も、対等な関係性を近接する差別も容易にはなくせぬ。しかし、差別のさなかに対等な人間関係を取り戻す道を開くこともできる。私たちが目指すべきは、対等で互いの差を乗り越える道である。」
中村尚司 (慶応大学教員)

「子どもに何かを伝えたくて、その何かを探したくてアカデミアに参加した。「何か」は教わるものではなく、生き方を通して自分と共に学ぶものだと思うこの頃。」
宮崎路子 (2期生・百姓見習い)

「『地球市民アカデミアとは長い付き合いになった。ここを離れて自分の世界を創りだしている人が大勢いる。今後は日本や世界諸地域の「現場」と直接つながってほしい。』」
横原彰 (国学院大学教員)

「アカデミアは私自身の「存在」を発見する機会を与えてくれた学びの場である。アジア学院では他の命によって生かされているのだということを実感した。」
滝谷幸代 (3期生・ロンドン留学期)

「アカデミアの魅力は、講義と共同学習で体系的かつ実践的に学べること、その過程で、それぞれがユニークさを引き出し、思い、関心をつなげ、学びあい、行動していくマジックがあること。」
奈良崎文乃 (1期生・NGO職員)

「国際協力を実際にやってみたくて参加しました。ちょっとずつ共通の関心を持った仲間が集って、その中から皆で楽しいこと、大切なことを見つけていけることです。」
市田恵美子 (5期生・専任講師)

「職業や年齢は様々でも国際協力への熱意ははた一つ。だから夜を徹して語り合えるし、グループ活動でスゴイこともできちゃう。仲間との出会い、この楽しさと充実感を、皆さんにも是非味わってほしい！」
牛嶋彰子 (6期生・文部省勤務)

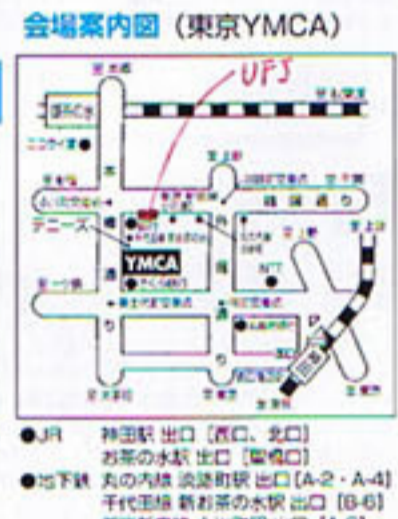
「自分のことで一杯のあなたに、007よりも頼もしいアカデミアをお薦めします。」
吉川貴也 (5期生・放送局勤務)

協力団体紹介 様々な団体の協力を得ながら広いネットワークの中で進められています。

(学)アジア学院 アジア・アフリカ諸国からの研修生が農村地域社会の人々の生活向上をめざして、食糧生産の基本、農村生活改善、よりよいコミュニティづくりを生活指導を通して学んでいく農村指導者専門学校です。	NGO活動推進センター(JANIC) 地球的諸課題に取り組む市民組織(NGO)の活動支援を目的に1987年に設立。主にNGO間のネットワーク、NGO活動に関する情報収集・提供・広報、調査研究、人材育成、海外NGOとの交流・協力をしています。	(社)協力隊を育てる会 民間の立場から広く市民の間に青年海外協力隊事業への理解を深め、協力隊活動に対する支援の輪を広げていくことを目的に設立されました。日本の地域における国際意識を高めるためにセミナー事業等を行っています。	アカデミア・ナッツ ナッツとは「結び目」という意味です。地球市民アカデミアの修了生たちがそれぞれに違った道を進みながらも、その結びつきを続けようという組織されました。ニュースレターの発行や修了生の活動支援を行っています。
--	--	---	--

共催団体紹介 地球市民アカデミアはこれら5団体の共催事業です。

東和大学国際教育研究所 1978年に設立され、主に開発教育・アジアにおける国際教育協力・NGO活動に関する調査研究を行っている大学付属の研究施設です。地球的諸課題への洞察力と判断力を有する地球市民の養成を目的に、地球市民アカデミアの創設と企画運営に携わっています。	開発教育協議会 日本における開発教育の推進を目的として1982年に結成された民間の連合組織です。各地で取り組まれている開発教育をネットワークし、その試みや動きを側面から支援するために、情報誌の発行、情報センター、全国研究集会、地域セミナー等を行っています。	東京YMCA国際奉仕センター YMCAは「青少年の健全育成」「豊かな地球社会の形成」「平和な世界の実現」を目指している青少年・社会教育団体です。国際奉仕センターでは、青少年の国際理解を深めるために、海外のYMCAとの協力関係を通して様々な国際交流・協力活動を行っています。
--	--	--



2000年度「第Ⅶ期地球市民アカデミア」のカリキュラム

“地球市民社会へつなぐ、今、私たちにできること”

国際協力という、遠い海の向こうの世界のことと考えがちです。しかし、地球市民社会とは、今、私たち一人一人が時々刻々とつくっているものであり、そのことを知るからあなた自身の国際協力が始まります。21世紀の社会に向けて「私たち」が協力して何ができるのかを、共に見出し行動していきましょう。

1 5/26(金夜)～28(日) オリエンテーション合宿 テーマ：環境と共生 講師：高見敏弘氏 [地球市民アカデミア] 2日3日の合宿では、海外研修生が学ぶ環境のアジア学院に体験入学し、各自異なる体験を共有しながら、これからの学びにおけるあなたの課題や方向性を探していきます。	7 9/8(金) 19:00～21:00 公開講座 地球市民アカデミア独自の学びの場を広く一般に公開します。受講生が主体となって講師の企画運営を行います。
4 7/8(土) 13:00～17:30 テーマ：市民社会とボランティア 講師：播磨靖夫氏 [シニアユース・日本のボランティア協議会] 従来の企業社会や国家のあり方、それを構成してきた私たち自身の暮らしを見つめ直し、21世紀に向けたこれからの社会のあり方を考えます。また、「市民」として生きるとはどういうことなのか、日本におけるボランティア活動の歴史のために何ができるのかを共に考えていきましょう。	8～11 9/22(金)・10/13(金) 10/27(金)・11/10(金) 19:00～21:00 共働学習 グループという単位での学びを通して、人と人との協力をすることを体験します。自分自身のテーマを明確にした上で、グループごとのテーマを決定し共働作業に入ります。NGOや協会の訪問を通しての学び、勉強会やイベントの企画など各グループ独自の活動が展開されます。上記日程では各グループの活動を互いに共有します。
2 6/10(土) 13:00～17:30 テーマ：開発と平和 講師：橋本誠氏 [東京YMCA国際奉仕センター] 今日の地球社会における開発の状況やその歴史、開発によって生じている様々な問題を整理し、「人間の安全保障」という概念を学びます。また、それらの問題に対して実際にどのような取り組みがなされているのかをアジアの事例に学びながら、自分自身の関わり方を考えます。	12 11/25(土)～26(日) プレゼンテーション合宿 テーマ：明日から行動するために 最終回は1泊2日の合宿を行います。半年間を振り返る学びやグループ活動の成果を互いに発表しあいます。そこには今までの「道」あなたがたが築いてきた道です。あなたにとっての新たな課題や次のステップへとつながっていきたくらいです。
3 6/24(土) 13:00～17:30 テーマ：人権とジェンダー 講師：金香百合氏 [東京YMCA国際] 「人権」は調べるだけでなく行動できません。ワークショップを通して、自分自身の人権やジェンダー(社会的性)に気づき、さらに視点や自分から見る、そして社会、世界へと広げていきましょう。わたしの問題が世界の問題であり、世界の問題がわたしの問題であることを知るから行動が始まります。	6 7/22(土)～23(日) 夏合宿 テーマ：実践から学ぶ 講師：実践者の方々 [NGOスタッフ、地域活動家、教員等] グローバルな課題に対して様々な活動をしている人々を選びながら、具体的にどのようなことができるのか、実践の上での課題は何かなどを共有し語り合います。それを通じて後期の共働学習のグループ作りを行います。